平成 24 年 2 月 13 日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社 マ ル マ エ
代表者名　代表取締役社長　前田　俊一
（ コード番号：6264　東証マザーズ ）
問合せ先　取締役管理部長　藤山　敏久
（ TEL. 0996-64-2900 ）

平成 24 年１月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 24 年１月度月次受注残高情報を開示いたします。

記

１．月次受注残高　　（百万円未満切捨て）

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
ＦＰＤ分野	44	35.7%	△14.0%	△58.2%
半導体分野	31	25.0%	△12.9%	△41.0%
太陽電池分野	0	0.0%	―	―
その他	48	39.3%	761.4%	―
合計	123	100.0%	33.7%	△26.5%

２．月次受注残高の推移　　（百万円未満切捨て）

区分	H23.2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
ＦＰＤ分野	55	※91	※135	※144	156	188
半導体分野	99	51	30	※35	35	28
太陽電池分野	11	5	0	0	0	0
その他	2	1	2	0	1	0
合計	170	※148	※168	※181	194	217

区分	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	H24.1 月
ＦＰＤ分野	159	168	113	71	51	44
半導体分野	34	21	46	35	35	31
太陽電池分野	0	0	1	0	0	0
その他	2	0	1	1	5	48
合計	196	191	162	109	92	123

※四半期決算処理に伴う修正を行いました。

３．月次受注残高の概況

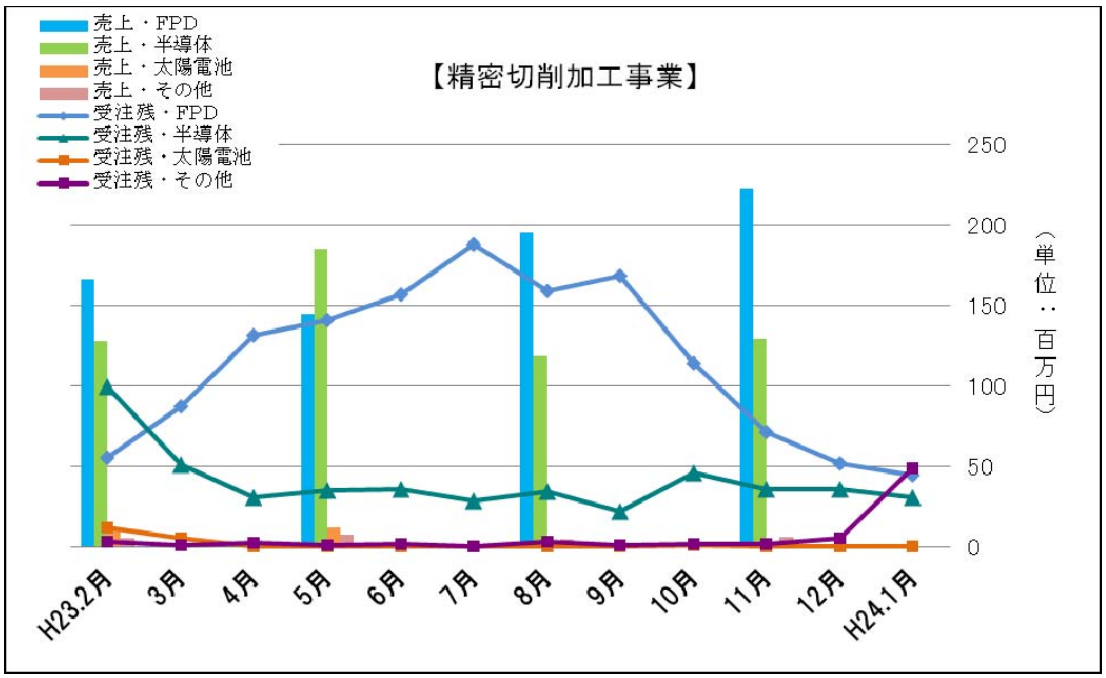
平成 24 年１月末の受注残高は、ＦＰＤ分野において、中小型製造装置部品受注の停滞が続いていることにより、対前月増減率で 14.0%減、対前年同月増減率では 58.2%減の 44 百万円となりました。また、半導体分野においては、受注は前月並みでありながらも、出荷検収が進んだため対前月増減率 12.9%減、対前年同月増減率 41.0%減の 31 百万円となりました。一方、その他分野において、原子力関連の受注獲得に成功したため、対前月増減率 761.4%増の 48 百万円となりました。なお、太陽電池分野の受注においては、大きな動きはありませんでした。これらの結果、対前月増減率 33.7%増、対前年同月増減率 26.5%減の 123 百万円となりました。

今後の受注見通しといたしまして、ＦＰＤ分野においては、第３四半期より受注が再拡大し始める見通しであります。半導体分野においては、足元は大きな変動は無い上、４月以降には若干の市場低迷が見込まれますが、当社受注は開発案件が多いことで横ばい程度が続くとの見通しを持っております。太陽電池分野においては、当社の得意とする薄膜シリコン系製造装置は停滞していますが、４月以降の新年度予算の執行に伴って試験開発が斬増傾向と想定しております。また、その他分野で新規顧客の受注についても緩やかに拡大する事が見込まれております。

全般的には、市場環境の停滞が続いておりますが、当社では消耗品受注の品種拡大や試作品受注の拡大で受注維持を図る方針です。また、協力企業との取引拡大や短納期対応力の向上など、市場環境の影響を受けにくい施策に取り組んでまいります。

以　　上

(参考：分野別　過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短いか当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。